

神戸大学ニュースネット
NEWS NET
©神戸大学ニュースネット委員会 http://home.kobe-u.com/top/newsnet/index.html
関西学生報道連盟共同編集室 〒532-0011大阪府淀川区西中島3-21-9-502
電話06-6307-1315 FA X06-6307-1316 メールnewsnet@kobe-u.com

しらすな会
現地サポートも万全!
本紙のみの特典あり!
**南紀サークル
合宿情報**
〒649-2211
和歌山県西牟婁郡白浜町2525-4
電話0120-53-1662
http://www.shirasunaka.jp/

6月号

今月の主な内容

- 1面：生協50周年企画特集
- 2面：脱線事故特集
- 7・8・9面：総合スポーツ

神戸大生らボランティア

被災地で足湯活動 能登半島地震

神戸大、阪大、神戸学院などのボランティア団体に所属する学生らで結成された「中越・KOB E足湯隊」は今年3月に起こった能登半島地震の被災地で、地震発生後から5月6日まで4回現地入りし、被災地でのボランティア活動を行った。神戸大ニュースネットは4月7日と8日に行われた足湯隊の2回目の現地活動に同行した。



足湯マッサージを行いながら、被災者と会話をする土井洋佑さん(法・4年)。(4月8日・石川県輪島市門前町のホテルビューサンセットで撮影＝西田健樹)

(法・4年)は、足湯隊が3月30日、31日に行った1回目の活動にも参加していた。「前回と比較して、皆さん早く帰りたいという気持ちも伝わってきた」と土井さん。8日、土井さんらの班は門前町のホテルビューサンセットで足湯活動を行った。土井さんからは、余震への不安から避難所生活を続けている山崎さん(78)は「気持ちよくしゃべれる方でした。笑顔になってくれて気持ちよかったです」と話した。【西田健樹】

EUIJ EU Institute in Japan 伊家族政策省大臣が来学 高齢化をテーマに講演

EUIJ関西の2007年度事業の一環としてイタリアのロジェ・ビンディアのロジェ・ビンディア家族政策省大臣が4月25日、神戸大に来学し「少子高齢化問題」をテーマに講演を行った。会場となった百年記念館には多くの人が集まった。

EUJ関西の2007年度事業の一環としてイタリアのロジェ・ビンディアのロジェ・ビンディア家族政策省大臣が4月25日、神戸大に来学し「少子高齢化問題」をテーマに講演を行った。会場となった百年記念館には多くの人が集まった。



学生らに前に公演するビンディア大臣(4月25日・百年記念館で撮影＝濱田直毅)

「実験費」100万円蓄積

工学部 目的外に使用

工学部の応用化学科が平成17年までの10年間、学生から徴収した「学生実験費」総額100万円を本来の目的にほとんど使わず蓄積。平成17年度内に実験用器具や備品購入に充てていたことがわかった。大学は4月17日に緊急記者会見を開き、「私的流用はなかった」と釈明した。

同学部によると、実験費は平成8年度前期から平成17年度前期まで3年生対象の初回実験ガイダンスで学科生から前後期各500円ずつを徴収していた。ガイダンスでは、実験で鉄のイオンを分析するため、牛乳などの実験試料を購入するなどの説明。しかし、実際は10年間、実験試料は約7万円分しか購入されておらず、残った約100万円が応用化学科の口座に蓄積したままにされていた。

ところが、平成17年4月に、信州大で学生から徴収したコピー代の一部を不正流用していたという報道があった。それを受け、同年5月に同学科は徴収した実験費のほとんどが蓄積されたままである状況は「同様に不正流用の」誤解を受ける可能性があるとの判断。実験費の見直しを審議し、平成17年度後期からの徴収が廃止された。100万円は卒業生への返済が困難であったため、同年度内に学生更衣ロッカーなどの備品や実験器具を購入し全額を使用したという。

記者会見で、森本政之学部長は「学生の搬出金を当初の目的どおりに生かすきれなかったことを反省しています」と話した。

祝 神戸大生協

設立50周年企画



神戸大生協は今年で設立50周年を迎えるのを記念して「生協設立50周年企画」を行っている。企画第一弾としてペットボトルのお茶が、第二弾としてサンドウィッチが神戸大生協購買部の各店舗で販売されている。

第一弾のペットボトルのお茶は生協のオリジナル商品。キャンパスには神戸大生協オリジナル

神戸大から2組出場

関西アカペラジャンボリー

第10回関西アカペラジャンボリー「K A J a !」が5月12日、京都駅ビル大階段で行われた。神戸大アカペラサークル「Ghana Ghana」からは「ZY(R)」と「Vertical Suspending Snopation」略して「馬刺し」の2組が出場し、歓声を受けていた。

「ZY(R)」はメンバーらが考えたダンスに合わせたレゲエを披露。観客は曲に合わせて掛け声をかけ、会場は盛り上がった。「馬刺し」はK A J a ! をシャックするという設定のコント調のステージでアニメソングを熱唱。「馬刺し」のパフォーマンスに会場は爆笑の渦に巻き込まれた。舞台を終え、メンバーらは「K A J a !」をシャックできた笑顔を見せた。

【村松里】

レゲエを披露する「ZY(R)」

5月12日、京都駅ビル大階段で撮影した参加者の集合写真を使用した新聞が配られた。

社内見学後には、見学前に撮影した参加者の集合写真を使用した新聞が配られた。

【塚本京平】

Do!
Kobe University!
平成19年度
入学式

「人類の未来は皆さんの手にある」と期待をあらわにした。最後に学長は、新入生には神戸大でさまざまなことにチャレンジして欲しいということをお話し、「Do! Kobe University!」という言葉で新入生に贈った。

農学部に入学した女子学生は「国立大の入学式は慣れたと思っていたが、さすが神戸大は関西を代表する大学、素晴らしい式でスタートを切れてよかった」と笑顔だった。【八幡平】

新聞社見学会を開催
関西学生報道連盟
神戸大ニュースネット委員会が加盟するUNN関西学生報道連盟の新歓企画として、4月21日、朝日新聞大阪本社で社内見学が行われた。新入生など16人を合わせた28人が参加し、新聞の歴史や新聞が作られる過程を見学した。

見学会では巨大な回転機が当日の夕刊を印刷していることや、実際に記者が構成している現場を見ることができた。友人に誘われて参加したという神戸大の1年生は「毎日何気なく読んでいた新聞にこれだけたくさんの人が関わっているとは知らなかった」と感想を話した。

社内見学後には、見学前に撮影した参加者の集合写真を使用した新聞が配られた。

【塚本京平】

一週間、購読無料。

この機会に新聞を
読んでみませんか?
いまなら一週間お試
しキャンペーン実施中!

http://www.asa-takaha.com

朝日新聞ご購入のお申込みは
ASA 高羽
0120-084013
神戸市灘区土山町1-13
※但し灘区内在住の方に限ります。

伏流水

新しいパイプを始めた。店内では毎日巨大なスクリーンでスポーツが放映され、観戦に訪れたファンが盛り上がる。プロ野球やJリーグ、海外サッカーに加え、高校野球も大いに人気を集める。スポーツだがその高校野球が盛り上げている。プロ野球の裏金問題を発端として、選手金問題に火種が及んだ。高校野球の持つ「純粋」なイメージが崩れたと言われた。お金を払えばバックネット裏まで行けるが、いくらお金を払っても選手としてグラウンドには入れない。20歳を迎える今、高校時代の監督の言葉を思い出さず、それでも甲子園は全ての球児にとって夢の舞台。甲子園に行きたい、そこで輝きたい。特待生たちは一倍感そう感じていた。だからこそ強豪高に進み、人一倍の練習で人一倍強くなる。そして生まれる優勝。「ハンカチ王子」と延長15回を戦い、甲子園を沸かせた「北の怪物」も生まれは兵隊だった。その学校は特待生制度に揺れているが、彼の躍動する姿にお金の話は似合わない。この問題が今後どのような展開を見せるのかわからない。それでもまた甲子園を目指す気持ちは、この球児であれ「純粋」であってほしい。

【塚本京平】

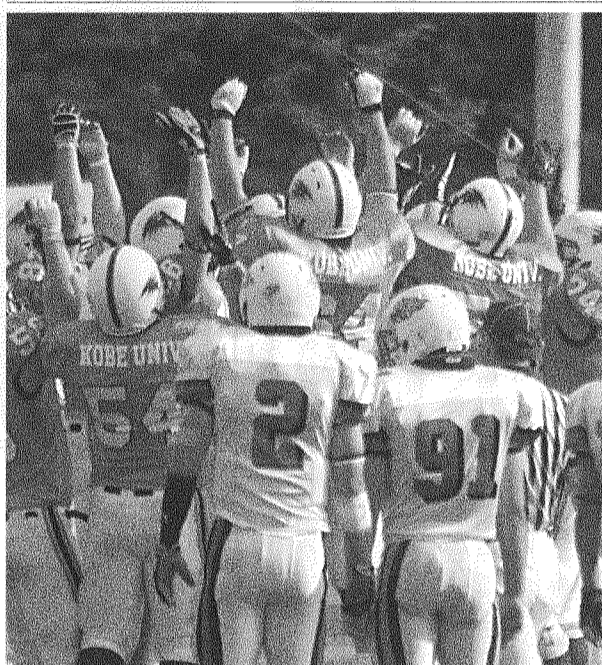
第53回関西学生アメリカンフットボール大会、神戸大レイバンスー近大ダブルスが5月13日にエキスポフラッシュフィールドで行われた。神戸大は試合終了間際に勝ち越しのTDを決め、35-28で近大を下した。

勝利の瞬間、歓喜の輪が広がった。神戸大は、昨シーズンの京産大などに敗れ、2連敗を喫った一戦を迎えた。

一進一退の攻防が続いた。だが、第4Q、9分に、この試合3回目の同点とされた直後のキックオフだ。神戸大はWR大園(発達)の67ヤードリターンなどでエンドゾーン付近に近づき、最後はRB竹内(工・4年)がダイブで押し込み決勝TD。昨年、リーグ戦で敗れた近大に雪辱を果たした。

「勝つのは純粋に喜んでいる。この勝利に安井ヘッドコーチも笑顔だった。」

アメフトレイバンス 近大との接戦制す



勝利に沸く神戸大レイバンスの選手ら(5月13日・エキスポフラッシュフィールドで 撮影=大野将寛)

目標通りの5TD 大園が攻守に活躍

この試合、5TDを目指していた神戸大。見事に目標を達成した背景には大園のビッグプレーがあった。

攻守に奮闘した「マークがきついのにはわかってた。昨年、1年生にしていたという神戸大。見事に目標を達成した背景には大園のビッグプレーがあった。だが、「マークされても彼なら捕まえてくれるだろう」と安井ヘッドコーチ。

日本代表を応援 国旗に寄せ書き

アジア王者を決めるAFCフットサル選手権大会が5月13日から19日にかけて、大阪市中央体育館などで行われた。大会前、日本代表を応援しようと神戸大フットサル部6人が中心となり、用意した大きな日本国旗の上に寄せ書きを募集した。

フットサル部員の田代豊さん(経営・3年)の提案でこの企画は始まった。「みんなこの大会に興味があった。僕が(応援企画をしよう)と言わなくても誰かがやろうと言ったと思う」と田代さんは話す。平日、国文書写(上)甲台食堂などにフットサル部員らが向かい、テールに国旗を掲げ、寄せ書き活動を行った。「大和魂見せろ!」など、国旗を埋め尽くすほどの応援メッセージが学生によって書き込まれた。「競技としてのフットサルは学生にまだまだ知られていない。寄せ書きをしていて、通じかかった学生から『フットサルに大会なんてあるんや』という声も聞きました。フットサルの魅力を知ってもらいたい、広めていきたい」と田代さんは企画を通して、フットサル普及も期待した。

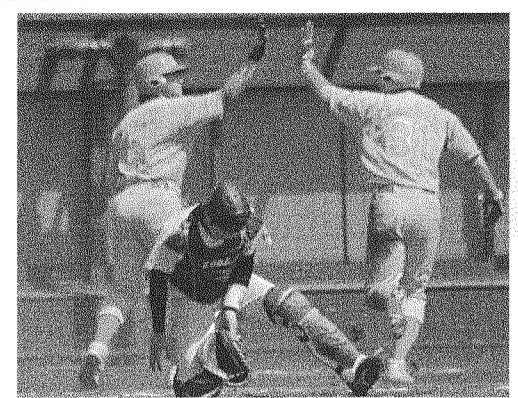
リベンジの舞台に到着 女子タツチフット

第3Q以降はそれまでのラン中心の攻撃から「ドキドキしました」とQB佐野も安堵の様子。今岡コーチも「今の段階でやることはできています」とほっと息をついた。

武庫川女大との決勝戦は27日、同じエキスポフラッシュフィールドで行われる。これだけやれるか楽しみ」と佐野。武庫川女大へのリベンジへ、舞台は整った。

この日は新チーム初めての公式戦。「ドキドキしました」とQB佐野も安堵の様子。今岡コーチも「今の段階でやることはできています」とほっと息をついた。

武庫川女大との決勝戦は27日、同じエキスポフラッシュフィールドで行われる。これだけやれるか楽しみ」と佐野。武庫川女大へのリベンジへ、舞台は整った。



奈産大戦で得点を許し肩を落とす河嶋捕手(4月29日・舞洲ベースボールスタジアムで 撮影=濱田直毅)

硬式野球 リーグ戦4位で低迷 守備力の弱さを露呈

近畿学生野球春季リーグが第5節2回戦まで終了した。神戸大は現在4勝6敗の勝ち点1で4位。リーグ戦は第3節の阪南大と、第5節の奈良大との3回戦を残り2試合で迎えている。

開幕は黒星発進だった。昨秋リーグ戦で上位だった奈産大と阪南大を倒すと、山崎は昨秋の最優秀投手。しかし、3点差以内のロスになるなど、と思っていた(齊藤)。試合は延長戦にまでもつれ込む接戦となった。神戸大は10回に松本(工・4年)の中堅への適時打で3-2とし、勝ち越しに成功。齊藤は10回12球1奪三振の完投勝利で山口に投げ勝つ。だが、2回戦では1-8でコールド負けを喫した。

この試合、5TDを目指していた神戸大。見事に目標を達成した背景には大園のビッグプレーがあった。だが、「マークされても彼なら捕まえてくれるだろう」と安井ヘッドコーチ。

その言葉通り、第3QにはQB大園からのパスを受け、近大ディフェンスを巧みにかわしTDをあげた。リターンとしても存在感を示した。キックオフリターンでは計3回で157ヤードを獲得。第4QにはRB竹内の決勝TDにつながる67ヤードのリターンを決めた。

さらに、この試合で大園はディフェンスとしても登場。第4Q中盤に負傷したDB城(発達・2年)に代わり起用され、本人もビックリ。「高校のときはDBもやっていた」という「まさか今日(DBとして)呼ばれるとは。D

コイントスで突破 甲南に引き分け

第4回関西学生フットボール大会が5月13日から19日にかけて、大阪市中央体育館などで行われた。大会前、日本代表を応援しようと神戸大フットサル部6人が中心となり、用意した大きな日本国旗の上に寄せ書きを募集した。

フットサル部員の田代豊さん(経営・3年)の提案でこの企画は始まった。「みんなこの大会に興味があった。僕が(応援企画をしよう)と言わなくても誰かがやろうと言ったと思う」と田代さんは話す。平日、国文書写(上)甲台食堂などにフットサル部員らが向かい、テールに国旗を掲げ、寄せ書き活動を行った。「大和魂見せろ!」など、国旗を埋め尽くすほどの応援メッセージが学生によって書き込まれた。「競技としてのフットサルは学生にまだまだ知られていない。寄せ書きをしていて、通じかかった学生から『フットサルに大会なんてあるんや』という声も聞きました。フットサルの魅力を知ってもらいたい、広めていきたい」と田代さんは企画を通して、フットサル普及も期待した。

この試合、5TDを目指していた神戸大。見事に目標を達成した背景には大園のビッグプレーがあった。だが、「マークされても彼なら捕まえてくれるだろう」と安井ヘッドコーチ。

その言葉通り、第3QにはQB大園からのパスを受け、近大ディフェンスを巧みにかわしTDをあげた。リターンとしても存在感を示した。キックオフリターンでは計3回で157ヤードを獲得。第4QにはRB竹内の決勝TDにつながる67ヤードのリターンを決めた。

さらに、この試合で大園はディフェンスとしても登場。第4Q中盤に負傷したDB城(発達・2年)に代わり起用され、本人もビックリ。「高校のときはDBもやっていた」という「まさか今日(DBとして)呼ばれるとは。D

漕艇部 2部門で入賞 第60回朝日レガッタ

琵琶湖漕艇場で関西学生ト連盟、朝日新聞社主催の全国最大規模のボート大会「第60回朝日レガッタ」が5月3日から6日の4日間わたって行われた。大会には大学生のみならず、中学生や高校生、社会人も参加した。大会期間中、連日観客が大勢詰めかけ川辺が競艇者で賑わっていた。荒天のため一部競技が中止となったが、大会は予定通り6日の4日間わたって行われた。大会には大学生のみならず、中学生や高校生、社会人も参加した。大会期間中、連日観客が大勢詰めかけ川辺が競艇者で賑わっていた。荒天のため一部競技が中止となったが、大会は予定通り6日の4日間わたって行われた。

この試合、5TDを目指していた神戸大。見事に目標を達成した背景には大園のビッグプレーがあった。だが、「マークされても彼なら捕まえてくれるだろう」と安井ヘッドコーチ。

その言葉通り、第3QにはQB大園からのパスを受け、近大ディフェンスを巧みにかわしTDをあげた。リターンとしても存在感を示した。キックオフリターンでは計3回で157ヤードを獲得。第4QにはRB竹内の決勝TDにつながる67ヤードのリターンを決めた。

さらに、この試合で大園はディフェンスとしても登場。第4Q中盤に負傷したDB城(発達・2年)に代わり起用され、本人もビックリ。「高校のときはDBもやっていた」という「まさか今日(DBとして)呼ばれるとは。D

4回戦で敗退 男子バスケット

第34回関西学生バスケットボール選手権大会が4月21日よりなみはやドームほかで行われた。

1回戦シードで2回戦からこの大会へ登場した神戸大男子バスケットボール部は、開幕戦で芦屋大を17-68、3回戦では摂南大を75-61でそれぞれ下して4回戦に駒を進めるも大體大に68-90で敗北。大産大に大差敗れた昨年に引き続き、4回戦で姿を消すことになった。

この試合、5TDを目指していた神戸大。見事に目標を達成した背景には大園のビッグプレーがあった。だが、「マークされても彼なら捕まえてくれるだろう」と安井ヘッドコーチ。

その言葉通り、第3QにはQB大園からのパスを受け、近大ディフェンスを巧みにかわしTDをあげた。リターンとしても存在感を示した。キックオフリターンでは計3回で157ヤードを獲得。第4QにはRB竹内の決勝TDにつながる67ヤードのリターンを決めた。

さらに、この試合で大園はディフェンスとしても登場。第4Q中盤に負傷したDB城(発達・2年)に代わり起用され、本人もビックリ。「高校のときはDBもやっていた」という「まさか今日(DBとして)呼ばれるとは。D